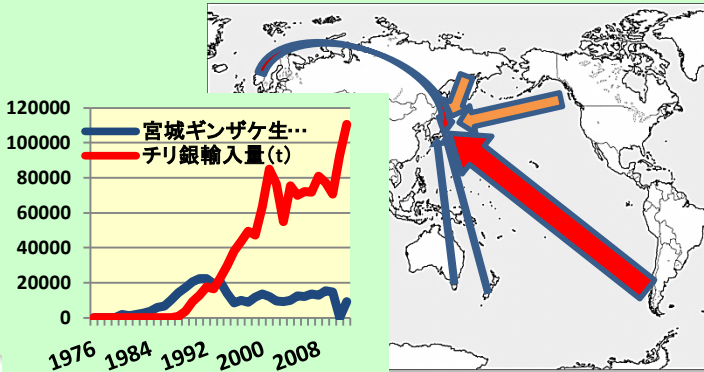


サケ科魚類養殖業の安定化、省コスト・効率化のための実証研究

市場ニーズに合った高品質なギンザケを、最新技術の導入で効率よく生産することによってギンザケ養殖生産者の収益と市場価値を高める



宮城県の養殖ギンザケは市場のグローバル化と震災で存続の危機

チリからの輸入量は10万トン以上
ノルウェーサケは日本の刺身市場に広く浸透

いかにして養殖産業を復興？

コスト削減・収益アップを目指した技術の導入

消費者ニーズにあった品質と高い鮮度で流通の実践



コストを抑えながら品質を向上！

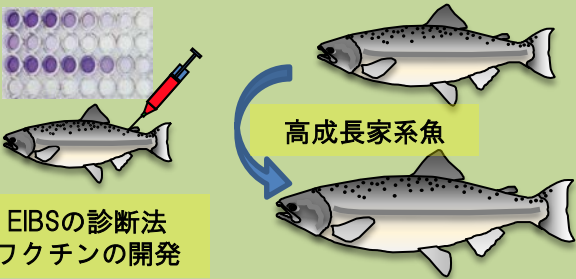
身質向上と低コスト飼料の開発と適正給餌法の導入



刺身・生食市場の開拓を！

輸入サケ類との差別化は？

ニーズにあったギンザケ供給と、新たなニーズ開拓を目指した販売戦略



EIBSの診断法
ワクチンの開発

高成長家系魚

EIBSワクチンの開発と病気に強く、成長の早いギンザケを育成



活〆
シャーベット氷
ブライン凍結
簡易脂肪分測定
の導入

高付加価値化のための活〆・鮮度保持と品質評価技術の開発

生産者の収益性向上と宮城県産ギンザケの市場価値の回復・向上

- 研究代表機関：独立行政法人水産総合研究センター
- 共同研究機関：宮城県水産技術総合センター・ニチモウマリカルチャー・日本農産工業・下関市立大学・東京大学
- 普及・実用化支援組織：宮城県漁業協同組合・みやぎ生協・太協物産(協力)